木津川市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

（令和３年度実施事業）

令和５年２月

木津川市教育委員会

目　次

Ⅰ．はじめに　1

Ⅱ．教育委員会の活動状況　4

Ⅲ．教育委員会の施策と取組内容
重点目標１　質の高い学力をはぐくむ　１０
重点目標２　豊かな心と規範意識をはぐくむ　１３
重点目標３　健やかな体をはぐくむ　１８
重点目標４　一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者としての必要な資質をはぐくむ　２２
重点目標５　社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ　２８
重点目標６　魅力ある・信頼される学校・園をつくる　３２
重点目標７　地域の力を活かして子どもをはぐくむ　３６
重点目標８　地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ　４４

Ⅳ．資料　４７

Ⅴ．有識者総評　５３

Ⅰ．はじめに

１．趣旨

木津川市では、まちづくりの基本的な施策の方針をまとめた第１次木津川市総合計画後期基本計画を平成２６年３月に策定し、平成３０年度までの施策として、７つの基本方針を示し「水・緑・歴史が薫る文化創造都市」の実現に向けて取り組んでまいりました。現在は、平成３１年３月に第２次木津川市総合計画を策定し「子どもの笑顔が未来に続く　幸せ実感都市　木津川」をまちの将来像と定め、実現に向けて取り組んでいます。

令和２年はじめ頃から世界的に大流行した新型コロナウイルス感染症の影響が、令和３年度の教育行政にも大きな影響を与えました。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による行動制限の中、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、感染防止対策に万全を期しながら子どもたちの健やかな学びを保障してきました。

また、国のＧＩＧＡスクール構想に基づき、令和２年度末に一人一台のタブレット端末の整備を完了し、各学校では「個別最適な学び」「協働的な学び」の学習が進められているところです。

そういった状況の中で実施した令和３年度の教育委員会が所管する事務事業については、第２次木津川市総合計画に基づき、基本方針１に「ともに『学び』『喜び』『成長し』未来を生きる子どもを育むまちづくり」として、「子育てするなら木津川市」といわれるまちを目指し、誰もが安心して子どもを生み育てられるよう、地域の力を結集して子育て支援を進めるとともに、次代を担う子どもたちが個性や能力を伸ばしながら、たくましく生きることができる教育・保育環境を整備し、未来を生きる子どもを育むまちづくりを施策の主要目標としています。

基本方針２では「誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり」の中で、市民一人ひとりが心豊かに暮らせるよう、年齢に関係なく学び、スポーツを楽しむことができるまちづくりを進めることを主要目標の一つとしています。

また基本方針３「一人ひとりが認め合い、力を発揮できるまちづくり」では、性別や国籍、価値観の違いを問わず、多様性を尊重しながら健やかに暮らせる環境づくりを、そして基本方針４では「人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり」として、豊かな自然や長年培われてきた歴史文化など豊富な地域資源を大切に守りながら活用し、観光やまちづくりに活かすことで、市の魅力を高め、活力と賑わいを生み出し、未来を拓くまちづくりを主要目標の中に掲げています。

学校教育においては、「木津川市教育振興基本計画」を平成２６年３月に策定し、「生きる力をはぐくみ、新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して」を基本理念とし、「子どもの力を伸ばし、未来に向かって生きる力をはぐくむ」、「一人一人が輝き、社

会の一員としての基盤をはぐくむ」、「木津川市の力を結集し、みんなで守りはぐくむ」ことを目標として取り組んでまいりました。現在は、平成３１年３月に中間見直しを行い「木津川市教育振興基本計画（後期）」を策定し、新たな教育課題にも対応し、更なる教育の充実に努めています。

社会教育においては、「木津川市生涯学習推進計画」を平成２６年３月に策定し、基本的人権の尊重を基盤として心豊かでうるおいのある社会の実現のため、社会の様々な教育機能を有機的に関連付け、人生の各時期に応じた多様な学習機会の提供や自発的な学習活動の支援など市民が生涯にわたって学び続けることのできる学習環境の総合的な整備・充実を促進し、地域の特性を生かした生涯学習の振興に努めています。さらに、同和問題など様々な人権問題についての学習活動の推進を図り、住民が相互にかかわる中であらゆる差別を許さない社会の実現を目指しています。そのために学校や他の行政機関・関係団体及び地域住民との連携を密にし、相互の連携を強めながらＮＰＯなど民間における取組も視野に入れた教育活動の企画・推進を図っています。

文化財の保護においては、「木津川市文化財保存活用基本計画」を平成２８年３月に策定し、「歴史的文化的遺産の保全と活用」、「市民との連携による歴史学習の推進と文化財の公開」、「水・緑・歴史のネットワークづくり」に取り組んでいます。また、平成３０年度からは、地域総がかりで木津川市固有の文化財の保存・活用を着実に進め、木津川市における歴史文化を活かしたまちづくりを推進することを目的に「木津川市文化財保存活用地域計画」の作成を進めています。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行いその結果に関する報告書を作成して議会に提出するとともに公表することと定められています。

市の総合計画に掲げられたまちづくりの基本方針及び目指すべき教育の実現に向けて、現時点での成果と課題を整理し、今後の教育目標を明確にするべく、教育委員会が所管する施策、取組内容を自己点検及び評価しました。

２．点検評価の対象及び方法

点検評価は、「木津川市教育振興基本計画（後期）」に沿って、令和３年度の教育委員会の施策や取組内容について、実施状況や事業費を前年度と比較し、重点目標ごとに自己点検及び評価を行いました。

その結果を「成果と課題」に整理し、今後の見通しを明確にするため「今後の方向性」としてまとめました。

なお、本報告書の作成にあたっては、有識者として三浦孝啓氏から助言をいただき

ました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律　〈抜粋〉

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第２６条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

資料

「木津川市教育振興基本計画（後期）」

「木津川市生涯学習推進計画」

「木津川市文化財保存活用基本計画」

令和３年度学校教育の重点

令和３年度社会教育の重点

令和３年度全国学力・学習状況調査結果

Ⅱ. 教育委員会の活動状況　（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

1. 教育委員について

市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長、4人の委員で構成されています。

令和3年度　木津川市教育委員会教育長及び委員

役　職　名	氏　　名	備　　考
教　　育　　長	森 永 重 治	
教育長職務代理者	有 賀 やよい	
委　　員	小 松 信 夫	
委　　員	高 橋 史 代	
委　　員	佐 脇 貞 憲	

2. 教育委員会の開催状況

令和3年度教育委員会会議開催状況一覧

No.	件　名	開　催　日
1	第 4回定例会	令和3年 4月30日
2	第 5回定例会	令和3年 5月27日
3	第 2回臨時会	令和3年 6月22日
4	第 6回定例会	令和3年 6月29日
5	第 7回定例会	令和3年 7月30日
6	第 8回定例会	令和3年 8月30日
7	第 3回臨時会	令和3年 9月15日
8	第 9回定例会	令和3年10月 4日
9	第10回定例会	令和3年10月22日
10	第11回定例会	令和3年11月22日
11	第 4回臨時会	令和3年12月 6日
12	第12回定例会	令和3年12月23日
13	第 1回定例会	令和4年 2月 2日
14	第 2回定例会	令和4年 2月21日
15	第 1回臨時会	令和4年 2月25日
16	第 2回臨時会	令和4年 3月 7日
17	第 3回定例会	令和4年 3月28日

【第4回定例会　令和3年4月30日】

○議　事

議案第18号　木津川市歴史文化基本構想策定委員会委員の委嘱について

議案第19号　木津川市立学校評議員の委嘱について

議案第20号　木津川市立幼稚園評議員の委嘱について

○その他

(1)学校の新型コロナ感染対策について

(2)城山台小学校の取組について(現状報告)

【第5回定例会　令和3年5月27日】

○議　事

議案第21号　木津川市家庭学習用タブレット型情報端末及びモバイル Wi-Fi ルーター貸与事業実施要綱の制定について

議案第22号　令和3年度木津川市一般会計補正予算第4号について

議案第23号　木津川市立学校運営協議会委員の任命及び委嘱について

議案第24号　木津川市立小学校及び中学校の在り方検討委員会への諮問について

【第2回臨時会　令和3年6月22日】

○議　事

議案第25号　城山台小学校第２体育館及び児童クラブ３号館新築工事請負契約の締結について

議案第26号　小中学校インターネット接続機器の買入れについて

【第6回定例会　令和3年6月29日】

○議　事

議案第27号　木津川市社会教育関係団体事業補助金交付要綱の一部改正について

議案第28号　木津川市文化財保護委審議会審議員の委嘱について

○その他

(1)令和3年第2回木津川市議会定例会　一般質問及び答弁について

(2)保護者ニーズの多様化に対応した幼児教育施設の在り方の検討について

(3)山城陸上大会(中学校)結果報告

【第7回定例会　令和3年7月30日】

○議　事

議案第29号　木津川市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

議案第30号　木津川市立学校運営協議会委員の任命及び委嘱について

議案第31号　木津川市立小学校及び中学校在り方検討委員会委員の委嘱について
報告第　1号　木津川市育英資金の交付状況等について
○その他
(1)城山台小学校児童急増対策に係る進捗報告について
(2)令和 3 年度相楽地方中学校総合体育大会結果報告

【第8回定例会　令和3年8月30日】
○議　事
議案第32号　令和3年度木津川市一般会計補正予算第6号について
議案第33号　(旧)木津学校給食センター解体工事請負契約の締結について
議案第34号　令和4年度以降使用中学校教科用図書の採択について
○その他
(1)令和3年度第1回いじめ調査結果について
(2)令和 3 年度京都府中学校総合体育大会等結果報告

【第3回臨時会　令和3年9月15日】
○議　事
議案第35号　令和3年度木津川市一般会計補正予算第7号について

【第9回定例会　令和3年10月4日】
○議　事
議案第36号　木津川市高麗寺跡史跡整備委員会委員の委嘱について
議案第37号　木津川市歴史文化基本構想策定委員会委員の委嘱について
○その他
(1)令和3年第3回木津川市議会定例会　一般質問及び答弁について(9月議会)
(2)木津川市体育施設条例の一部改正について
(3)保護者ニーズの多様化に対応した幼児教育施設の在り方の検討について(2)

【第10回定例会　令和3年10月22日】
○議　事
議案第38号　木津川市体育施設条例の一部改正について
○その他
(1)学校の在り方検討委員会報告
(2)GIGA スクールハンドブック作成報告
(3)防災スクールハンドブック作成報告
(4)山城地方駅伝大会(中学校)結果報告

【第11回定例会　令和3年11月22日】

○議　事

議案第39号　令和3年度木津川市一般会計補正予算第9号について

○その他

(1)木津川市公立幼稚園再編実施計画(素案)について

(2)城山台小学校児童急増対策の現状について(報告)

【第4回臨時会　令和3年12月6日】

○議　事

議案第40号　相楽小学校中校舎長寿命化改修工事請負契約の締結について

議案第41号　教員用タブレットPCの買入れについて

【第12回定例会　令和3年12月23日】

○議　事

議案第42号　木津川市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正に係る臨時代理について

○その他

(1)令和3年第4回木津川市議会定例会　一般質問及び答弁について(12月議会)

(2)木津川市立公立幼稚園再編実施計画のパブリックコメントの時期について

【第1回定例会　令和4年2月2日】

○議　事

報告第　1号　木津川市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について

○その他

(1)令和3年度全国学力・学習状況調査結果広報紙「きづがわっ子」の作成報告

(2)令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果報告

(3)令和3年度第2回いじめ調査結果について

【第2回定例会　令和4年2月21日】

○議　事

議案第　1号　令和4年度木津川市一般会計予算について

議案第　2号　令和3年度木津川市一般会計補正予算第12号について

議案第　3号　木津小学校校舎改築工事請負契約の締結について

議案第　4号　城山台小学校校舎増築工事(Ⅱ期)請負契約の締結について

議案第　5号　木津川市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検・評価

に関する報告書（令和2年度実施事業）について

○その他

（1）木津川市立小学校及び中学校における医療的ケア実施要綱について

（2）木津川市公立幼稚園再編実施計画（案）のパブリックコメント実施結果について

【第1回臨時会　令和4年2月25日】

○議　事

議案第　6号　令和４年度木津川市立小・中学校管理職人事について

【第2回臨時会　令和4年3月7日】

○議　事

議案第　7号　木津川市立小中学校及び幼稚園空調設備整備ＰＦＩ事業に係る契約の変更契約の締結について

【第3回定例会　令和4年3月28日】

○議　事

議案第　8号　木津川市立図書館協議会委員の任命について

議案第　9号　木津川市子どもの読書活動推進計画（第三次計画）について

議案第10号　木津川市公立幼稚園再編実施計画について

○その他

（1）令和4年第1回木津川市議会定例会　会派代表質問、一般質問及び答弁について（3月議会）

（2）令和4年度　学校教育の重点について

（3）令和4年度　社会教育の重点について

3. 教育委員会の活動状況

令和3年度　研修等参加状況

開催日	件　名	開催場所
令和３年 5月	京都府市町村教育委員会連合会定期総会	書面開催
7 月	山城地方教育委員会連絡協議会定期総会	書面開催
9 月 2 日	全国市町村教育委員会オンライン協議会	オンライン

11月1日	近畿市町村教育委員会研修大会	あましんアルカイック ホール・オクト
11月2日	京都府内市町村(組合)教育委員会連合会研修会	オンライン
令和4年 2月	相楽地方教育委員会連絡協議会 教育長・教育長職務代理者合同会議	書面開催

Ⅲ. 教育委員会の施策と取組内容

重点目標１　質の高い学力をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(1) 学びに向かう力、人間性等の涵養と学習習慣の確立
　① 木津川市ならではの「わかる授業の創造」
　② 幼・小・中連携の推進

(2) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
　③ すべての子どもの学力の向上

(3) 活用する力の育成
　④ 思考力・判断力・表現力等の育成

■主な取組実績

<table>
<tr><td>取 組 名</td><td>学びに向かう力、人間性等の涵養と学習習慣の確立</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td>〇木津川市立小・中学校学力充実・向上推進会議の開催
・『質の高い教育』の創造を目指し、教育委員会と学校とが連携して協議・交流・研修する。

▶実施状況　(回)
<table>
<tr><td></td><td>令和２年度</td><td>令和３年度</td></tr>
<tr><td>開　催　回　数</td><td>2</td><td>3</td></tr>
</table>
▶推進委員構成　(人)
<table>
<tr><td>小学校教職員</td><td>１３</td></tr>
<tr><td>中学校教職員</td><td>5</td></tr>
<tr><td>学 校 教 育 課</td><td>2</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>担 当 課</td><td>学校教育課</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>取 組 名</td><td>基礎的・基本的な知識・技能の習得</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td>〇ホップアップ学習（小学校補充学習）
・学習意欲の向上や学習習慣の確立及び基礎学力の充実のための補充学習を実施。令和元年度までは対象を３年生から６年生としていたが、令和２年度からは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための学校休業対応等による学習保障を行うため、全学年に拡大するとともに、補充時間や講師数を増加し、学習指導の充実を図った。

▶実施状況
<table>
<tr><td></td><td>令和２年度</td><td>令和３年度</td></tr>
<tr><td>実　施　校　数</td><td>１３</td><td>１３</td></tr>
<tr><td>の べ 時 間 数</td><td>４，８３７</td><td>６，３５２</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
ホップアップ学習事業費	７，２５６	９，５２７

〇ステップアップ学習（中学校補充学習）

・中学校１年生から３年生を対象として、学習意欲の向上や学習習慣の確立及び基礎学力の充実のための補充学習を実施。

▶実施状況

	令和２年度	令和３年度
実　施　校　数	5	5
の べ 時 間 数	２９０	１，０１１

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
ステップアップ学習事業費	４３５	１，５１７

〇木津川市小学校統一学力診断テスト

・客観的な学力の把握と、分析に基づく教科指導並びに授業改善を図るため、小学２年生から５年生を対象とし、国語科及び算数科、５年生は理科を加えた学力診断テストを実施。

▶実施状況　（人）

	令和２年度	令和３年度
受　験　者　数	３，５３３	３，５８０

担 当 課	学校教育課

取 組 名	活用する力の育成
取組内容	〇絆の作り手育成プログラム事業 ・加茂地域の３小学校（加茂小学校、恭仁小学校、南加茂台小学校）で同じ研究テーマ「土・人・地域社会とつながり、主体的に未来を生き抜く児童の育成」を設定し、総合的な学習の時間において、地域の文化財を題材にした問題解決型地域学習に取り組んだ。 ・課題について多面的・多角的視点で探究し、自分なりの意見や課題解決に向けた発案を他校や地域へ発信する活動を行った。 ▶事業費　（千円） 令和２年度：令和３年度 絆の作り手育成プログラム事業費：―：１８６
担 当 課	学校教育課

取　組　の　成　果　と　課　題
【成果】 ◎全国、府の学力調査について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図りながら、２年ぶりに各校で実施した。市の小・中学校学力充実・向上推進会議において、実施した各学力調査の結果分析を共通理解し、各校での具体的な取組に生かすことができた。 ◎本市独自の小学校統一学力テスト等の実施・検証により、学力向上を図る具体の方策を検討・実践し、加えて市独自の補充学習の取組も充実させつつ、着実に学力の向上につなぐことができた。 【課題】 ◎全国、府の学力調査が、それぞれ令和６年度、令和５年度から「１人１台端末」であるタブレットを使ったものに変更されていくことが明らかになり、今後は、経年比較や課題の明確化など、新たな学力測定に対応した取組を進めていくことが急務である。 ◎家庭学習においては、各学校の「家庭学習の手引き」等を基本に、山城教育局が作成した家庭学習に特化したリーフレットも活用し、保護者への啓発も含め、宿題の工夫など、家庭学習の習慣化への取組を今後も継続する必要がある。

今　後　の　方　向　性
◎全国、府が実施する新たな学力調査の取組みに対応しつつ、子どもの実態を的確に把握し、「主体的・対話的で深い学び」の充実を図るため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を重視した授業改善に取り組み、基礎的・基本的な知識及び技能の定着と思考力・判断力・表現力等の育成を目指す。

重点目標２　豊かな心と規範意識をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(4) 道徳教育の推進

① 道徳教育の推進体制の充実

② よりよく生きるための基盤となる道徳性の育成

③ 地域の力を活かした学習活動や体験活動の充実

(5) 生徒指導の充実

④ 社会の一員として持つべき規範意識やコミュニケーション能力の育成

⑤ いじめ等の問題行動に対する迅速な対応及び未然防止に向けた取組の教化

⑥ 不登校をはじめとする諸問題に対する相談体制の充実

⑦ 地域社会との連携

(6) 読書活動の推進

⑧ 就学前から読書に親しむ活動の推進

⑨ 学校での読書活動の推進

■主な取組実績

取 組 名	道徳教育の推進
取組内容	○木津川市道徳研究会 ・年間３回の研究会の実施を予定していたが、コロナ禍により研究会の代わりに、幼・小・中の道徳教育の実践事例をレポートとしてまとめ、道徳教育の推進を図った。 ○道徳教育全体計画に基づいた教育活動全体での道徳教育の推進 ・特別の教科「道徳」を要として、各教科、特別活動等で、道徳教育との位置づけを明確にし、学校教育全体で道徳教育を推進する。 ○各中学校区あいさつ運動の実施 ・各中学校区において、児童生徒があいさつ運動を通じて、心のふれあいや地域住民との深い信頼関係を構築するためのコミュニケーション能力の育成を目指す。 ○日々の取組み ・日々の学校での活動の中で、規範意識の向上や個性の伸長に向け繰り返し指導している。 ・朝の会や終わりの会を身近な道徳的実践の場とする。 ・クラブ活動でのマナー向上に向けた指導
担 当 課	学校教育課

取 組 名	生徒指導の充実

取組内容

○カウンセリングルームの設置

・中央図書館で週 2 回、心身ともに健全な児童生徒の育成のために、臨床心理士が相談活動を実施。

▶開設状況　(日)

	令和２年度	令和３年度
開所日数（のべ）	９４	９９

▶事業費　(千円)

	令和２年度	令和３年度
カウンセリングルーム設置事業費	３，９７６	４，００２

○心の教育相談員の配置

・心身ともに健全な生徒の育成のために、生徒等の様々な相談に応じる心の教育相談員を木津第二、木津南、山城中学校に各 1 人を配置（木津、泉川中学校には府のまなび生活アドバイザーを配置）。

▶実施状況　(日)

	令和２年度	令和３年度
配置日数（のべ）	３５２	３８４

▶事業費　(千円)

	令和２年度	令和３年度
心の教育相談員設置事業費	１，１４５	１，２３９

○スクールカウンセラーの配置

・悩みを持つ児童生徒の不安を和らげ、充実した学校生活が送れるよう、府費によるスクールカウンセラーの巡回派遣のみとなっている小学校（木津小学校、相楽小学校、城山台小学校、加茂小学校、南加茂台小学校、恭仁小学校、上狛小学校、棚倉小学校）に市費で臨床心理士を配置（各校４週に１回）。

▶実施状況　(時間)

	令和２年度	令和３年度
のべ配置時間数	７１８	７１２

▶事業費　(千円)

	令和２年度	令和３年度
スクールカウンセラー設置事業費	３，５８６	３，７３８

○適応指導教室の設置

・心理的な要因により登校の困難な児童生徒を対象とした不登校対策。

・適応指導教室を教育支援センターと位置付け、不登校を中心とした児童生徒への支援を推進した。また、京都府教育委員会委託事業「学校以外の場における教育機会の確保等に関する調査研究」を受け、別室指導援助等を行った。

▶実施状況　（人）

	令和２年度	令和３年度
登　録　人　数	２１	３５

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
適応指導教室事業費	１９，３３９	１５，２４８

○いじめ防止等対策

・木津川市いじめ防止等対策委員会事業、各校のいじめ防止対策委員会による組織的な指導体制を確立し、全ての児童生徒に対してアンケートと教育相談を実施し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。

▶実施状況　（回）

	令和２年度	令和３年度
委員会開催回数	2	2

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
いじめ防止等対策委員会事業費	４７０	４９７

担当課	学校教育課

取組名	読書活動の推進
取組内容	○としょかんスタートセットの配布 ・小学校１年生に「としょかんスタートセット」を配付し、児童の図書館利用を促進。 ▶実施状況　（人） 令和２年度：配布数　９６０ 令和３年度：配布数　８９５ ○朝読書・昼読書の実施 ・すべての学校で、常に児童生徒の身近に本を置き、朝読書や昼読書の取組みを組織的、継続的に実施。 ○学校司書の配置 ・学校司書を中心とした学校図書での読書活動を推進。 ▶実施状況　（人） 令和２年度：図書館司書配置数　9 令和３年度：図書館司書配置数　１０ ＊１人が２校を担当 ▶事業費　（千円） 令和２年度：学校教育事務事業費（学校司書人件費）　１９，５１８ 令和３年度：学校教育事務事業費（学校司書人件費）　２０，８３４

○木津川市子どもの読書活動推進計画（第三次推進計画）の推進
・家庭、地域、保育園・幼稚園との連携のもと、就学前から子どもが読書活動に親しむ態度を培う。
・小中学校においては、読書活動を教育活動の中に適切に位置付け、児童生徒の読解力、表現力の向上を図ることにより「ことばの力」の育成に努める。

○学校図書館情報化・活性化推進
・図書館システムを利用することで貸出し・返却事務を利便化し児童生徒の図書館利用を促進する。

▶実施状況　（年度末現在：冊）

	令和２年度	令和３年度
学校図書蔵書数	１５１，９８４	１５５，９６３

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
学校図書館情報化・活性化推進事業費	４，６９６	４，５６６

担当課	学校教育課、社会教育課

取組の成果と課題

【成果】
◎発達段階に応じた道徳科を中心とした効果的な指導と評価についての実践的な交流、研究を通して、よりよく生きる基盤となる道徳性の育成につなげた。
◎スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーなど相談員の配置及び充実と、より積極的な活用及び適応指導教室による児童生徒への支援を推進することで、不登校をはじめとする学校不適応などに対する相談体制を充実した。
◎学校司書等による適切な新型コロナウイルス感染防止策が講じられたことにより、学校図書館の開館、利活用が再開され、読書活動への取組みが徐々に回復している。密を避けて児童生徒が学校図書館で過ごす時間が保障されている。

【課題】
◎いじめ問題への対応の充実と発達の段階をより一層踏まえた体系的なものに改善する必要がある。
◎不登校児童生徒に対する様々な取組みを進めているが、不登校児童生徒数の減少には至っていない。今後もより一層の取組強化が必要である。
◎学校の授業以外で読書をする割合が、全国平均を下回っている状況が続くことへの打開策として、第三次推進計画策定の中により具体的な小・中学校での取組が提示され、朝読書等の読書活動の継続強化を図るとともに、本に親しむ取組をより活発に進めるため、児童生徒の活動も具体化する必要がある。

今　後　の　方　向　性
◎組織的・計画的な生徒指導を推進し個々の子どもの発達段階を踏まえた個別最適化を目指す指導や支援を行うことで、共生社会の一員としての規範意識の醸成や個性の伸長 、コミュニケーション能力の育成を図っていく。 特に不登校対策については教育機会の保障の観点からＩＣＴ活用も踏まえた長期的な支援も視野に入れた対策を進める。 読書活動は、子どもの言語力と創造力等を高め、深い情緒をはぐくむ上でも学校教育を中心に社会全体でその推進を図っていくことが重要であり、木津川市子どもの読書活動推進計画（第三次推進計画）において、「ことばの力」を豊かにはぐくむ読書活動を推進するため、より具体的に提示していく。

重点目標３　健やかな体をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(7) 食育の推進
　① 健やかな体づくりの支援
　② 望ましい食文化の継承と地産地消の推進
　③ 安心・安全な学校給食の実施

(8) 体力の向上
　④ データに基づく児童生徒の体力向上
　⑤ 体育的行事や部活動の充実

(9) 健康の保持増進
　⑥ 喫煙、飲酒、薬物乱用等の防止教育
　⑦ 家庭と連携した生活習慣の確立
　⑧ 学校保健・保健管理の充実

■主な取組実績

<table>
<tr><td>取 組 名</td><td>食育の推進</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td>
○木津川市食育推進委員会

▶実施状況　(回)
<table>
<tr><td></td><td>令和２年度</td><td>令和３年度</td></tr>
<tr><td>開 催 回 数</td><td>3</td><td>2</td></tr>
</table>

○５分間スタディの実施
・市内全小中学校で、学年に応じたテーマを設定し、食に関する５分間の学習を学期に１回程度実施。子どもたちの学習内容を保護者にも情報共有している。

○動画作成
・食材の生産・調理の過程を可視化した教材として動画を作成・配布し、小中学校で食育に活用された。
令和３年度作成　タイトル「カレーができるまで」

○栄養教諭による出前授業の実施

▶実施状況　(回)
<table>
<tr><td></td><td>令和２年度</td><td>令和３年度</td></tr>
<tr><td>開 催 回 数</td><td>１８</td><td>７２</td></tr>
</table>

○学校給食におけるアレルギー対応
・令和２年度に作成した「学校等における食物アレルギー対応マニュアル」により、市として統一したアレルギー対応として、卵、乳、小麦、えび、かにの５品目について、除去食・代替食対応を行っている。
</td></tr>
</table>

▶アレルギー対応者数　（人）

	令和２年度	令和３年度
第一学校給食センター 第二学校給食センター	１５１	１４９

＊令和２年度から統一した基準のため２センターの合計数

〇給食の地産地消の推進

・地元産食材を使った郷土食や伝統料理等の食文化を継承し、栄養バランスが取れ、子どもの健全な成長を促すとともに、ふるさとの農業・食文化への興味付けを行う。

▶実施状況　（%）

	令和２年度	令和３年度
地産地消率	１６．７	１８．８

＊該当食材数/1日に使用する食材数

〇学校給食センター概要

・令和２年度より２センター運営となり、安心・安全・安定供給の体制を整え、統一献立を実施している。

▶受配校と提供児童・生徒人数　（人）

	第一学校給食センター	第二学校給食センター
受配校	木津・木津第二・山城中学校 木津・相楽・高の原・相楽台・木津川台・梅美台・城山台・上狛・棚倉小学校 木津・相楽・高の原幼稚園 １２校３園	木津南・泉川中学校 州見台・加茂・恭仁・南加茂台小学校 ６校
児童・生徒人数	５，８８８	２，１８１
喫食延べ人数	１，１２８，５３６	４２０，０４０

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
事業費	４０８，６２２	５９６，３２３

担当課	学校教育課

取 組 名	体力の向上
取組内容	○中学校部活動外部指導者 ・学校部活動支援のため、学校の実態に応じた外部人材を配置する。 ▶実施状況 令和２年度：配置校数 ３校、配置人数 ４人 令和３年度：配置校数 ４校、配置人数 ６人 ○中学校部活動指導員 ・学校部活動を支援するとともに、教職員の働き方改革を進める。 ▶実施状況 令和２年度：配置校数 ２校、配置人数 ２人 令和３年度：配置校数 ２校、配置人数 ３人 ▶事業費 （千円） 令和２年度：部活動指導員事業費 ５１４ 令和３年度：部活動指導員事業費 ５２４ ○木津川市立中学校運動部活動連携事業 ・市立中学校における運動部活動の活性化と生徒の運動能力・体力の向上を図るため、在籍校に希望する運動部がなくても、市内の他校の運動部に参加できる事業を継続する。
担 当 課	学校教育課

取 組 名	健康の保持増進
取組内容	○木津川市学校保健会連絡協議会 ・健康で望ましい生活習慣の確立を図る。 ○オリンピック・パラリンピック教育の実施 ・京都府の委託を受けた推進指定校が多様なスポーツを体験し、親しむことで児童生徒一人ひとりのスポーツ志向の高まりを期待するとともに、自他を尊重し、社会に貢献しようとする心やボランティアマインドを養い、共生社会を築くための障害者理解を身につける。 ▶実施状況 （校） 令和２年度：実施校数 4 令和３年度：実施校数 4

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
オリンピック・パラリンピック教育推進事業費	３４３	３３４

担当課	学校教育課

取組の成果と課題

【成果】
◎給食をはじめとする学校生活における食の安全を守るためアレルギー対応マニュアルを作成し、統一した対応を行っている。
◎運動部活動指導方針に基づき、適切で充実した部活動が実施できた。
また、地域人材と顧問等が適切に連携した実技指導と助言により、運動部活動の活性化と適切な指導体制の構築を図った。
◎健康に関する現代的な課題に適切に対応するために、校種間の連携や各種関係機関と連携により、健康の保持増進に努める力の育成を図った。

【課題】
◎学校給食の提供において、引き続き安心・安全・安定供給を最優先としながら、地元産食材を学校給食に取り入れるための体制づくりを整えていく。
◎児童生徒の体力テスト等の結果に基づく運動能力の状況を踏まえた取組みや授業改善を引き続き推進していく。
◎学校・園、家庭、地域との連携のもと、基本的な生活習慣の確立に向けた取組みをさらに推進していく。

今後の方向性

◎地元産食材を使った郷土や伝統料理等の食文化を継承し、栄養バランスがとれ、子どもの健全な成長を促す「おいしく、安心・安全で魅力ある学校給食」を目指す。また、ふるさとの農業・食文化に関心が持てるよう学校・園における食に関する指導を充実する。
◎安心・安全な学校給食等を実施するため、作成した学校等における食物アレルギー対応マニュアルをもとに教職員の研修を推進する。
◎体力、運動能力を培う学校体育の充実、中学校部活動の充実を引き続き図る。
◎小中学校教育研究会と連携し、体力テスト等の結果集計・分析に基づく運動能力の状況を踏まえた取組みや授業改善を推進する。
◎喫煙や飲酒、大麻使用、薬物乱用等の防止教育を進め、生涯に渡って健康の保持増進に努める能力の育成を図る。

重点目標４　一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者としての必要な資質をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(10) 人権教育の推進
　① 人権感覚をはぐくむ学習環境の創造
　② 共生の態度の育成
　③ 校種間・家庭・地域・関係機関との連携

(11) 特別支援教育の推進
　④ ニーズに応じた支援の推進・相談体制の充実
　⑤ ユニバーサルデザインの視点・多様な学びの場

(12) キャリア教育の推進
　⑥ 将来を見通した系統的な教育の推進
　⑦ 進路指導相談体制の充実

(13) 幼児期の教育の推進
　⑧ 人格形成の基礎を培う幼児期の教育の充実
　⑨ 幼少連携の推進
　⑩ 家庭教育における子育て支援

(14) 経済的に困難な環境にある子どもへの支援の充実
　⑪ 子どもが置かれている環境の改善を図る取組の充実
　⑫ 児童生徒の学習支援の充実
　⑬ 保護者への経済的支援の充実

■主な取組実績

取 組 名	人権教育の推進
取組内容	○木津川市人権教育研究会 ・あらゆる教育活動を通して総合的に人権教育を推進する中で、一人一人を大切にして教育・保育の推進を図り、校種間連携のもとに様々な人権問題について正しい理解と認識の基礎と自他を尊重する態度や実践力の育成に向けた積極的な取組みを進める。 ・令和３年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、昨年度と同様に、研究会は参加者を限定して実施した。また、各学校・園で ICT 機器等を活用したり、感染予防を徹底してフィールドワークを取り入れた研修をするなど、工夫して研究・研修に取り組んだ。
担 当 課	学校教育課

取 組 名	特別支援教育の推進

取組内容

○相談支援ファイルの作成と活用

・個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成と取組みを進め、生涯にわたる一貫した支援のために「相談支援ファイル」を活用し、適切な支援を継続させる。

○教育支援委員会による支援

・特別な教育的支援を必要とする幼児・児童の小中学校への進学について保護者との相談及び専門家からの意見聴取などを行い、適切な就学を支援する。

▶実施状況　(回)

	令和２年度	令和３年度
支援委員会開催回数	５	４

▶事業費　(千円)

	令和２年度	令和３年度
教育支援委員会事業費	４５	５４

○特別支援教育支援員の配置

▶実施状況　（５月１日現在）

	令和２年度	令和３年度
特別支援学級数（小学校）	３９	４１
特別支援学級数（中学校）	１４	１３
要支援児童数	１５６(５９２)	１４７(６２５)
要支援生徒数	５２(２５２)	６１(２１９)

＊（　）内は通常学級在籍者で支援・配慮を要する児童生徒数

▶事業費　(人、千円)

	令和２年度	令和３年度
特別支援教育支援員数	２７	２８
学校教育事務事業費（特別支援教育支援員人件費）	２５，１５７	２４，９８１

○通級指導教室の開設

・言語、聴覚等に障がいのある児童に早期の改善・克服を目指し指導を行う。

・令和２年１１月に相楽地方通級指導教室を解散し、市通級指導教室（８教室）に再編した。

▶実施状況　(人)

	令和２年度	令和３年度
通級指導終了（児童）	４３	５４
通級指導終了（生徒）	１１	４

	▶事業費　（千円） 令和２年度　令和３年度 （小学校）管理事業費　―　２，６１４ （小学校）振興事業費　―　７３６ （中学校）管理事業費　―　１４１ （中学校）振興事業費　―　４５
担 当 課	学校教育課

取 組 名	キャリア教育の推進
取組内容	○仕事・文化体験活動の実施 ・児童生徒が仕事・文化体験学習を行い、様々な経験を通して豊かな心を育てることを目的とする。 ▶実施状況　（校） 令和２年度　令和３年度 実　施　校　数　１４　１０ ▶事業費　（千円） 令和２年度　令和３年度 「KYO 発見　仕事・文化体験活動」推進事業費　４９４　３８２
担 当 課	学校教育課

取 組 名	幼児期の教育の推進

取組内容

〇公立小学校と幼児教育施設との協働による幼小接続推進事業

・幼稚園や保育園等の幼児が小学校入学後の生活習慣に早期に対応できるように各小学校が実施する体験入学や交流会に必要な物品等を購入する。

▶実施状況　（人）

	令和２年度	令和３年度
入学予定者数	８２８	８７７
事業参加幼児数	７８５	４１８

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
推進事業費	４２６	２９４

〇市立幼稚園の運営

・教育目標を達成するため、一人ひとりの個性や能力を伸ばし生きる力を培う幼児教育の質の向上を図る。

《教育目標》

やさしさ・豊かさ・たくましさをもった子どもの育成

▶実施状況　（5月１日現在：人）

	令和２年度	令和３年度
木津幼稚園園児数	１５７	１５７
相楽幼稚園園児数	９５	７５
高の原幼稚園園児数	１３４	９２

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
木津幼稚園管理事業費	６，１６７	６，５４３
相楽幼稚園管理事業費	５，００７	５，９７１
高の原幼稚園管理事業費	５，８６９	５，４９２

担 当 課	学校教育課、こども宝課

取 組 名	経済的に困難な環境にある子どもへの支援の充実
取組内容	○就学援助費の支給 ・経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者および特別支援学級在籍児童・生徒の保護者に対し、児童・生徒に平等な教育の機会を与えることを目的に援助を行った。 【小学校】 ・就学援助費の対象者は６９７人（要保護児童３５人、準要保護児童６６２人）、このうち６６６人（要保護児童４人、準要保護児童６６２人）に対して支給した。 ・就学奨励費の対象者は１２２人、このうち１０５人に対して支給した。 ・令和４年度新入学児童８０人に対し学用品費を入学前支給した。 【中学校】 ・就学援助費の対象者は３８３人（要保護生徒１３人、準要保護生徒３７０人）、このうち３７３人（要保護生徒３人、準要保護生徒３７０人）に対して支給した。 ・就学奨励費の対象者は３８人、このうち３１人に対して支給した。 ・令和４年度新入学生徒１００人に対し学用品費を入学前支給した。 ▶事業費　（千円） 令和２年度　令和３年度 就学援助事業費（小学校）　１０８，６１７　４８，８６７ 就学援助事業費（中学校）　６８，２０９　４１，４６７
担 当 課	学校教育課

取　組　の　成　果　と　課　題
【成果】 ◎特別な支援を要する幼児・児童の状況を踏まえた就学相談を実施し、保護者の意見を踏まえて適切な就学先の決定を行うことができた。 ◎通常学級における配慮を必要とする児童・生徒一人一人の教育的ニーズに基づき、特別支援教育支援員が個別の支援を行うことにより、個々の児童・生徒の学力向上や心の安定等を図ることできた。 ◎通常の学級における配慮を要する児童に対して、通級指導教室での指導により、個々の発達課題の克服に取り組むことができた。 【課題】 ◎特別な支援を要する幼児・児童・生徒への必要な支援を行うとともに、適切な就修学に努める。 ◎特別な支援を要する幼児・児童・生徒の一貫した支援を図るため、保・幼・こども園、小・中学校との連携をさらに密にし、生涯にわたる切れ目のない支援を充実する。 ◎特別な支援を要する幼児・児童・生徒が増加傾向にあり、個別での支援充実のための対応が必要である。

今　後　の　方　向　性
◎個々の子どもの発達課題や実態を細やかに把握し、関係機関との連携の中で必要な指導・支援を行うことにより、一人一人の社会的自立を図ることができる能力を育成する。

重点目標５　社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(15) 情報教育の推進

① ＩＣＴ活用能力の育成

② 情報モラルの育成

③ ＩＣＴ教育の研究体制等の充実

(16) グローバル化に対応できる人材の育成

④ 多文化共生教育の推進

⑤ 国際交流事業の推進

(17) 環境教育の推進

⑥ 環境を保全する力の育成

■主な取組実績

取 組 名	情報教育の推進
取組内容	○木津川市情報教育研究会 ・情報教育を推進する組織を軸とした研究・指導体制の充実を図る。 ・教職員研修を充実し、ICTリテラシー及び授業力の向上と情報モラル教育の充実を進める。 ○ＩＣＴ教育の推進 ・児童生徒一人ひとりの学力向上を目指して、より分かりやすい授業、子どもたちの学習への興味や関心を高める授業を効果的に実施するため、タブレットパソコンやデジタル教材等を活用した学習活動を推進する。 ▶実施状況 ・プロジェクタ型電子黒板等のＩＣＴ機器は、平成３０年度までに小中学校の全普通教室及び特別支援教室に整備。以降クラス数増加対応分を整備していく。 ・令和２年度に引き続き既設分の学習用パソコンの一部をリース契約により更新した。 ・基礎学力の向上のため、個別最適化機能を搭載したデジタルドリル、支援員を導入した。 ▶事業費　(千円) 令和２年度 / 令和３年度 ＩＣＴ教育推進事業費　３８，８１２　４４，３５５ 可動式教育用コンピュータ整備事業費　１５７，５４４　３５２，７３４

○ＩＣＴ支援員の配置

・ＩＣＴ機器やデジタル教科書を使用した授業を円滑に進めるため、動画の作成や動作不良対応などの教員のサポートを行う。

▶実施状況

	令和２年度	令和３年度
配　置　校　数	１８	１８
配　置　人　数	7	9

担 当 課	学校教育課

取 組 名	グローバル化に対応できる人材の育成

取組内容

○国際理解教育の推進

・外国語指導助手（ＡＬＴ）や小学校英語指導講師（ＪＴＥ）を効果的に活用し、児童生徒が生きた英語に触れることにより英語力を高めたり、国際理解を深める。

（ＡＬＴ）

▶実施状況　(時間)

	令和２年度	令和３年度
語学指導助手授業数	５８２	５０５

▶事業費　(千円)

	令和２年度	令和３年度
語学指導助手招致事業費	１１，４６０	１１，３１５

（ＪＴＥ）

▶実施状況　(人)

	令和２年度	令和３年度
配　置　人　数	3	3

▶事業費　(千円)

	令和２年度	令和３年度
学校教育事務事業費（ＪＴＥ人件費）	３，７７２	３，３５９

○中学生海外派遣事業

・友好都市であるサンタモニカ市との交流事業において、中学生が国際交流を行い、コミュニケーション能力や国際感覚を磨く取組みを推進する。令和３年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を中止した。

	▶事業費　（千円） 令和２年度　令和３年度 国際交流協会補助金　１６７　４９０
担 当 課	学校教育課、社会教育課

取 組 名	環境教育の推進
取組内容	○環境を保全する力の育成 ・地域と連携した環境学習や環境保全のための自発的な活動の交流を図り、取組みを充実させながら、組織的・計画的な環境教育を推進する ・市内の環境に関連する施設や地域の企業などを活用した、体験的な環境教育の取組みを推進する ・地球温暖化防止の具体的な取組みを通して、人、社会、自然環境との関連性を認識し、地球的規模での環境保全に目を向けた教育を推進する
担 当 課	学校教育課

取　組　の　成　果　と　課　題
【成果】 ◎情報教育研究会主催の GIGA リーダー会をオンラインで実施し、優れた実践について交流することで、職員研修を充実することができた。 ◎デジタルドリルを導入し、児童生徒一人ひとりに合わせた学習を実施することができた。 ◎全教室に ICT 機器を整備し、小中学校における授業での活用が進んでいる。 ◎ICT 支援員の全校配置により、活用が進むにつれて増加する機器トラブルや、活用場面に応じた機器操作に関する課題に対応できている。 【課題】 ◎教員及び児童生徒がパソコン端末によるネットワークへの接続をすることから、校内ネットワークの高速化を図る必要がある。 ◎一人一台端末となったことを踏まえ、教職員のＩＣＴリテラシーの向上と授業における利活用の推進を図る必要がある。

今　後　の　方　向　性
◎情報活用能力の育成を図り、主体的・対話的で深い学びを目指す。 ◎ICT 機器を活用した教育を推進することで、身近な地域の課題から地球規模の環境破壊に至るまで、幅広い視点で課題解決型学習を設定するなどの工夫をし、グローバルに活躍できる人材の育成を目指す。

重点目標６　魅力ある・信頼される学校・園をつくる

■施策の基本的方向と取組内容

(18) 学校・園の組織力と教職員の資質向上

① 学校・園の組織力の向上

② 教師の資質・能力の向上

③ 教職員の健康管理

(19) 魅力ある学校・園づくり

④ 特色ある学校・園づくり

⑤ 情報発信する学校・園づくり

⑥ 協働・参画による学校・園づくり

(20) 安全・安心なよりよい教育環境の整備

⑦ 危機管理体制の確立

⑧ 実践的な防犯・交通安全教育の推進

⑨ 計画的な教育施設の整備

■主な取組実績

取 組 名	学校・園の組織力と教職員の資質向上
取組内容	○木津川市初任者・新規採用者研修 ・指導主事による授業参観と個別指導を通して、授業力の向上と服務等も含めた資質能力の向上を図る。 ○働き方改革の取組み ・職員の勤怠管理をＩＣカードでシステム化することにより、勤務時間を見える化し、勤務実態の把握や適正な勤務時間の指導を行っている。 ・学校ごとに「ノー残業デー」を設定 ・校務支援システムを活用し、事務の効率化を図っている。 ・取組みを通して職員の意識改革を図っている。
担 当 課	学校教育課

取 組 名	魅力ある学校・園づくり

取組内容

○特色ある学校づくり

・当該学校、児童、生徒及び地域実態、特性を活かした特色ある教育活動への積極的な取組みを推進する学校の教育活動の一層の充実を図ることを目的として、平成２３年度から各学校からの事業提案型で実施している。

▶実施状況

指　定　課　題	2
特色を活かした研究課題	１０

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
特色のある学校づくり推進事業費	９１７	１，０００

○小中学校の在り方検討委員会

・児童生徒数の減少が見込まれる中で、義務教育９年間を見通し、子どもたちの未来のために望ましい教育環境を実現するための方向性を見出すことを目的に、中長期的な展望に立って今後の市立小中学校の在り方について、２カ年かけて審議する。

▶実施状況　（回）

	令和２年度	令和３年度
開　催　回　数	―	4

▶委員構成　（人）

１号（学識経験者）	2
２号（学校関係者）	3
３号（保護者代表）	3
４号（地域関係者）	4
５号（公募）	2
６号（その他必要と認める者）	1

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
学校教育事務事業費（小中学校在り方検討委員会報酬・費用弁償）	―	３６０

担 当 課	学校教育課

取 組 名	安全・安心なよりよい教育環境の整備
取組内容	○施設管理事業 ・城山台地区の児童生徒急増対策として、城山台小学校の第２体育館を新設し、校舎中庭の改修を行った。 ・木津小学校、相楽小学校の老朽化対策として、先に両校の仮設校舎の設置を行い、木津小学校については、南校舎等の解体工事が完了し、改築工事に着手した。また、相楽小学校については、中校舎の長寿命化工事に着手した。 ▶事業費　（千円） 令和２年度 / 令和３年度 事務局費　１６１，８６０　７１，８１３ 小学校費　２４３，８６４　１，５７２，６４３ 中学校費　６５，９３６　５９，１８９ ○通学路の定期的な安全点検 ○木津川市通学路安全推進会議 ・地域やＰＴＡから要望される通学路における安全対策要望箇所について、関係機関が一堂に会し要望箇所の合同点検を実施し、対処工事等を行い、通学路の安全性向上に取組む。
担 当 課	学校教育課

取　組　の　成　果　と　課　題

【成果】

◎教職員の出退勤時間を IC カードで管理することで、在校時間が明確になり教職員の勤怠管理がしやすくなった。また、職員の意識改革にもつながり、在校時間が削減された。

◎各校で決めたテーマに沿って、重点的に研究や実践に取り組むことで各校の特色づくりができている。

◎市の初任者等研修を通じて、初任者等の授業力の課題と具体的な改善点が明確になり、その後の指導力の向上につながった。また、服務についても具体的に指導ができた。

【課題】

◎特色ある学校づくり事業として、各校の実態を踏まえた計画により事業内容を選定しているが、学習指導要領に対応した独自の取組みや、より各校の特色がでる事業となるよう適切な支援を推進する。

今　後　の　方　向　性
◎教育施設の長寿命化計画に基づき、コストを抑えながら効果的に施設管理していく。 ◎本市においては、今後も教職員の初任者が増えることが予想され、初任者研修の役割は引き続き重要になると考える。また、市学力充実・向上会議を中心に、学力向上に係る喫緊の課題を常に明らかにし、市全体の教員の資質能力の向上を目指す取組を推進する。コロナ禍の状況を見据え、可能な限り先進地での学びを進め、活かしていく。

重点目標７　地域の力を活かして子どもをはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(21) 社会総がかりによる子育て支援
　①　地域の教育力を活かした教育環境の整備
　②　子どもの安心・安全な居場所づくり

(22) 家庭教育の支援
　③　親の学びの支援と相談・サポート体制の充実
　④　保護者への経済的支援

(23) 生涯学習環境の充実
　⑤　生涯にわたる豊かな学びのサポート

(24) 安全対策の充実
　⑥　安全対策の充実

■主な取組実績

<table>
<tr><td>取 組 名</td><td>社会総がかりによる子育て支援</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td>
○青少年健全育成
・青少年の健全育成活動を促進し、次代を担う社会の形成者として豊かな人間性を育むため、各種関係団体との連携を密にして「木津川市小学生ソフトボール大会」など健全育成事業の実施や、団体活動の支援を行っている。令和３年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を中止した。

▶実施状況
<table>
<tr><td></td><td>令和２年度</td><td>令和３年度</td></tr>
<tr><td>青少年育成委員会事業参加者数</td><td>０人</td><td>０人</td></tr>
<tr><td>地域子ども会補助金交付件数</td><td>６０件</td><td>５６件</td></tr>
</table>
▶事業費　(千円)
<table>
<tr><td></td><td>令和２年度</td><td>令和３年度</td></tr>
<tr><td>青少年健全育成事業費</td><td>１，３８９</td><td>１，２９９</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

○京のまなび教室事業の推進

・小学校区単位で、放課後や土曜日における子どもの活動を支援するため、諸活動における安全確保や遊び・学習活動のコーディネートなどを行う。放課後や休日の子どもたちと地域の交流の場となるよう、放課後子ども教室等を実施している。

・木津川市子ども・子育て支援事業計画に基づき、一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を令和元年度までに５０％整備することを目指し、１３小学校区のうち７校区で８教室を開設した。令和３年度は、新型コロナウイルスの影響により11月から１２月の期間に、４教室で計７回実施した。他の期間は、緊急事態宣言等が発令されていた期間を含め感染予防対策のため、高齢のボランティアや児童の安全を考慮して中止した。

▶実施状況（活動回数）

	令和２年度	令和３年度
相楽台小学校	新型コロナウイルス感染拡大防止のため全教室中止	コロナで中止
高の原小学校		コロナで中止
棚倉小学校		１回
南加茂台公民館		コロナで中止
南加茂台小学校		２回
木津小学校		校舎移設工事により中止
城山台小学校		３回
上狛小学校		１回

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
京の学び教室推進事業費	３７１	３９０

○地域で支える学校教育推進事業

・中学校区単位で、学校教育活動に地域の力を活用するため、学校の要望内容と地域の力をコーディネートする。平成２５年度から、市内５中学校区に具体的な学校支援を協議する地域学校協働本部（旧学校支援地域本部）を設置し、地域コーディネーターを中心として、地域のボランティアとともに学校支援を実施している。

▶実施状況　（人）

	令和２年度	令和３年度
地域コーディネーター活動人数	１１	１０

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
地域で支える学校教育推進事業費	１，１５８	１，２４０

○学校運営協議会
・学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていく取組みで、城山台小学校・上狛小学校で始まった。
令和３年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、城山台小学校のみが運営協議会を実施した。

▶実施状況　（回）

	令和２年度	令和３年度
開催回数	―	3

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
城山台小学校管理事業費（学校運営協議会委員報酬）	―	３５

担当課	社会教育課、学校教育課

取組名	家庭教育の支援
取組内容	

○公立幼稚園バス使用料減免措置
・公立幼稚園バス使用料減免

▶実施状況　（人、千円）

	令和２年度	令和３年度
対象人数	１３	7
減免額	１３４	８５

○育英資金の交付
・教育のために役立ててほしいと寄せられた寄附金からなる育英資金交付基金を財源として、寄附者の意思を反映させるため、高等学校または高等専門学校等の入学生に対し、修学のための援助を行った。高等学校等在学中で負担が大きいと考えられる１年生のみを対象とし、１人当たり 10,000 円を交付した。

▶実施状況　（人）

	令和２年度	令和３年度
育英資金交付人数	７６	５８

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
育英資金交付事業費	２，２８０	５８０

○通学費補助金の交付
・遠距離通学児童の通学費負担軽減を図るため交付。
対象児童は１３人。

▶実施状況　（人）

	令和２年度	令和３年度
補助金交付人数	１７	１３

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
安全対策事業費	２９４	２３１

担当課	学校教育課、こども宝課

取組名	生涯学習環境の充実
取組内容	

〇社会教育委員会活動

・社会教育委員会、専門部会で社会教育関連事業について研究を行った。京都府の社会教育研究大会に参加し研鑽に努めた。また、近畿・全国社会教育研究大会等の研修会が、新型コロナウイルス感染症拡大により、中止等となった。

▶実施状況　（回）

	令和２年度	令和３年度
委員会開催回数	6	4
専門部会開催回数	3	2

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
社会教育委員事業費	８７１	１，０２２

〇高齢者教育

・自ら興味や関心を持って学ぼうとする意欲を高めることによって、高齢者の「自立」と「つながり」を一層深めるため、高齢者のニーズを踏まえた学習課題を設定し、生涯学習の推進を図るため、生きがい大学を実施している。
令和３年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を中止した。

▶実施状況　（人）

	令和２年度	令和３年度
入学者数	0	0

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
高齢者教育事業費	６７	１７０

○障害者教育

・視覚障害者及び聴覚障害者の自立や地域住民の社会参加を促進するための学習機会を提供し、地域を基盤とした共生社会の実現を目指すため、関係団体と連携して社会教育研修会を実施した。

▶実施状況　（人）

	令和２年度	令和３年度
研修会参加者数	１１	１８

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
障害者教育事業費	0	0

○少年少女合唱団の育成

・山城少年少女合唱団、加茂少年少女合唱団、木津少年少女合唱団の３団体があり、月２～３回の練習を中心に発表会への参加などの活動を行っている。令和３年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策をとりながら、可能な範囲で事業を再開した。

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
少年少女合唱団育成事業費	９３	９５９

○公民館活動

・南加茂台公民館を中心に公民館講座を、東部交流会館を中心に市民講座・生涯学習講座を行う。令和３年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら講座を開催した。

▶実施状況　（講座開設数）

	令和２年度	令和３年度
南加茂台公民館	0	１６
東部交流会館	0	２２

▶利用状況　（のべ人数）

	令和２年度	令和３年度
南加茂台公民館	１３，８１５	１５，７６７
庁舎北別館	８，４３１	６，９８３
東部交流会館	７，４７６	９，４８５
中央交流会館	１７，９８８	２２，９９６
西部交流会館	９，８５７	９，８７６
瓶原公民館	４５２	４３８
山城文化センター	２１，５２３	３４，８６５
加茂文化センター	１３，４５２	１６，１４３
当尾の郷会館	８，６９３	７，２９０

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
公民館事業費	２２	２，３３９
公民館管理／運営事業費	１０，０５５	１０，７０５
庁舎北別館管理事業費	３，５０３	１，９５６
交流会館運営事業費	３６，９９５	３５，８５０
山城文化センター管理運営事業費	５３，７５９	５４，１３５
加茂文化センター管理運営事業費	３６，１３４	３６，２１３
当尾の郷会館管理事業費	４，５１８	４，４３５

○図書館活動

・資料や情報の提供に重点を置き、図書の貸出を中心に、小学１年生に「としょかんスタートセット」の配布を行うなど、市民の図書館利用促進を図った。各団体による絵画等の作品や、季節や時の話題をテーマにした資料の展示を実施した。

▶実施状況　（冊）

		令和２年度	令和３年度
中央	年度末蔵書数	１４５，０１３	１４６，３７４
	年間貸し出し冊数	２６１，３６５	２９０，６６１
	年間利用者数（人）	６５，８１９	７２，４０５
加茂	年度末蔵書数	８３，７５８	８４，８４８
	年間貸し出し冊数	１２９，１８６	１４３，８０３
	年間利用者数（人）	３５，３１３	３８，２２７
山城	年度末蔵書数	１０９，４３６	１１０，５８７
	年間貸し出し冊数	１１５，０９９	１３１，８６５
	年間利用者数（人）	２９，７５０	３１，３８６

▶事業費　（千円）

		令和２年度	令和３年度
中央	管理事業費	１５，４６９	１３，３７３
	運営事業費	４９，０９５	４９，４５０
加茂	管理事業費	３，１４１	２，４７５
	運営事業費	２２，６４１	２２，９５４
山城	管理事業費	４，０１５	３，７３６
	運営事業費	２２，３７８	２３，２４３

○社会教育施設管理事業

・加茂文化センター空調設備改修に係る設計及び工事、西部交流会館駐車場整備工事など老朽化施設の改修や機能充実等に計画的に取り組んだ。

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
施設管理事業費	１３６，７７８	７９，５４１

○生涯スポーツ・健康づくり

・スポーツ推進委員などと連携し、気軽に取り組めるニュースポーツの普及、高齢者などを対象とした健康増進や体力向上のための教室の開催など、生涯スポーツの振興、障害のある方も参加しやすい学習機会の拡充や環境整備に努めている。

○スポーツ推進委員事業
○社会体育振興事業

▶実施状況

	令和２年度	令和３年度
スポーツ推進委員活動回数	８回	１５回
スポーツ協会及びスポーツ少年団会員数（累計）	２，０７３人	２，０１５人

▶事業費 （千円）

	令和２年度	令和３年度
生涯スポーツ振興事業費	0	1
社会体育振興事業費	８，０９５	１０，２９０

○オリンピック聖火リレー事業

・東京２０２０オリンピック聖火リレーの実施に取り組んだ。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、京都府立京都スタジアムにおいて、無観客でのリレーと点灯セレモニーとなった。要員の確保、準備物及び広報に要した業務委託料を支出した。

▶事業費 （千円）

	令和２年度	令和３年度
社会体育振興事業費（オリンピック聖火リレー事業費分）	１，６２１	７，７７８

担当課	社会教育課

取 組 名	安全対策の充実
取組内容	○児童生徒の安心と安全を確保するための取組み ・各小学校でインターホン、防犯カメラ、赤外線センサー等による機械警備を実施 ・新入学児童への防犯ブザーの配布、自転車通学をする新入生徒へのヘルメット購入補助 ・交通量の多い区域への学童誘導員の配置 ▶事業費　（千円） 令和２年度：６，９０１　令和３年度：１７，０５２ 安全対策事業費
担 当 課	学校教育課

取　組　の　成　果　と　課　題

【成果】
◎生涯学習推進計画「きずなプラン」に基づき、新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら、市内の社会教育施設を拠点とした学習機会の提供により、生きがいづくりや、地域づくりを進めた。
◎スポーツ推進委員と連携し、気軽に楽しめるニュースポーツの普及に向けた研修を行った。
◎平成３０年度の図書館利用者アンケートや利用者からの要望に基づき、図書館運営のサービス向上を図るため、自習席の運用を開始した。
◎社会教育施設をより利用しやすい施設とするため整備や良好な施設維持管理を行った。

【課題】
◎参加者の固定化・高齢化が見られるため、新たな参加者を増やすために、事業のあり方や運営方法を検討し、改善を図る必要がある。
◎スポーツ指導者の育成を図るため、指導者研修会等の充実と積極的に参加できる体制づくりが必要である。
◎図書館施設の限られたスペースを有効活用し、より効率良く、豊富で魅力的な蔵書を揃えた書架づくりを行うことが必要である。
◎社会教育施設の多くが老朽化しており、建物・設備の経年劣化が見られる。

今　後　の　方　向　性

◎身近な学びの場となる社会教育施設間の緊密なネットワークをつくり、相互の交流や連携を図り、多様なニーズに応える幅広い学習機会を提供し、誰もが生涯学習、生涯スポーツにとりくみやすい環境づくりを行っていく。
◎地域の図書館として、市民にとって図書館がより身近で役立つ施設となるよう、図書館サービスのあり方の検討を進める。
◎利用者の安全性・利便性に影響あるものを優先的に、施設整備を進める。

重点目標８　地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容
(25) 自然・歴史についての学習の充実
　① 自然・歴史についての学習の充実
　② 文化・芸術活動の推進
(26) 地域資源の活用
　③ 木津川市ならではのネットワークの構築

■主な取組実績

<table>
<tr><td>取 組 名</td><td>自然・歴史についての学習の充実</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td>
○文化財担当職員による出前授業の実施

▶実施状況

	令和２年度	令和３年度
実 施 回 数	１回	２回
参 加 人 数	７８人	１４７人

○指定等文化財修理等への補助金交付
・文化財の防犯防災事業及び保存修理事業に対して補助金を交付した。

▶実施状況　（補助金件数）

補 助 金 名	補 助 対 象 事 業
国指定文化財の保全修理事業補助金：３件	浄瑠璃寺阿弥陀如来坐像修理（５か年計画の４年目）　ほか
府指定登録文化財等に対する補助金：４件	白山神社摂社春日神社本殿修理　ほか
国指定・府指定登録文化財の維持管理（防災設備保守点検など）：２０件	小林家住宅　　ほか
未指定文化財等に対する補助金：１１件	蟹満寺絹本著色十王図修理ほか

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
指定等文化財修理等補助事業費	９，９５６	９，３３８

○文化財保護の啓発活動
・市内文化財愛護団体の活動に対する補助金交付
・史跡恭仁宮跡パンフレット増刷
</td></tr>
</table>

▶事業費　(千円)

	令和２年度	令和３年度
文化財保護啓発事業費	６１５	３６４

○遺跡・史跡の整備等
・高麗寺跡整備
史跡整備事業の最終年度。総合案内板・南門跡南辺築地塀跡説明板・誘導板を製作設置後、高麗寺遺跡公園開園式を行い一般に公開し整備報告書を刊行。

▶事業費　(千円)

	令和２年度	令和３年度
高麗時跡整備事業費	２５，７６２	４，０６６

○史跡等買上
・史跡指定地の保全を目的とした公有化の推進。
史跡恭仁宮跡（山城国分寺跡）の保存地区内の用地取得を実施。

▶事業費　(千円)

	令和２年度	令和３年度
史跡等買上事業費	２０，１４７	１３，３５１

○市内遺跡発掘
・「令和３年度木津川市内遺跡発掘調査報告書」を作成。
埋蔵文化財包蔵地での試掘調査を８件実施した。

▶事業費　(千円)

	令和２年度	令和３年度
市内遺跡発掘調査事業費	３，７５７	２，８４１
発掘調査等公共事業費	－	―

○発掘調査等受託
・令和３年度実施なし。

▶事業費　(千円)

	令和２年度	令和３年度
発掘調査等受託事業費	２０７	―

担 当 課	文化財保護課

取 組 名	地域資源の活用
取組内容	○地域の文化財資料調査活用 ・令和３年４月１日に令和３年度国宝重要文化財等保存・活用事業費「（現光寺・大智寺）史料地域活性化のための特色ある文化財調査・活用事業」に採択された５年計画の４年目事業。 現光寺・大智寺の調査を実施した。

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
地域の文化財資料調査活用事業費	３，１３２	４，０９６

○歴史文化基本構想策定
・木津川市文化財保存活用地域計画作成にかかる５年計画の４年目として、文化財保存活用地域計画策定業務を委託し、策定委員会を３回開催した。

▶事業費　（千円）

	令和２年度	令和３年度
歴史文化基本構想策定事業費	２，３６４	１，５３２

○木津川市ふれあい文化講座
・コロナ感染防止のため中止。

○くにのみや学習館（木津川市文化財整理保管センター分室）
・史跡恭仁宮跡をはじめ、本市の豊富な歴史・文化遺産の魅力を発信する拠点施設で、恭仁宮の再現 DVD の上映や発掘調査などにより出土した瓦や土器等の展示等を行っているほか、恭仁宮及び市内観光関連パンフレットを配架している。
運営は瓶原まちづくり協議会に委託している。

担当課	文化財保護課

取組の成果と課題

【成果】
◎コロナ禍においても感染対策を徹底しながら地域の歴史・文化財についての出前授業を通じて、郷土の歴史と文化財啓発を実施できた。

【課題】
◎郷土愛を育むためには、地域の歴史・文化財を十分に伝え、地域資源を活用する取組みの一層の強化が必要。

今後の方向性

◎本市の歴史・文化財についての出前授業を通じて、地域の歴史と貴重な文化財を学ぶ機会の充実を図る。

Ⅳ．資料

教育委員会事務局

（１）所在地　　京都府木津川市木津南垣外110番地9

郵便番号　619-0286

電　　話　（0774）72-0501 ㈹

学校教育課　（0774）75-1230　（直通）

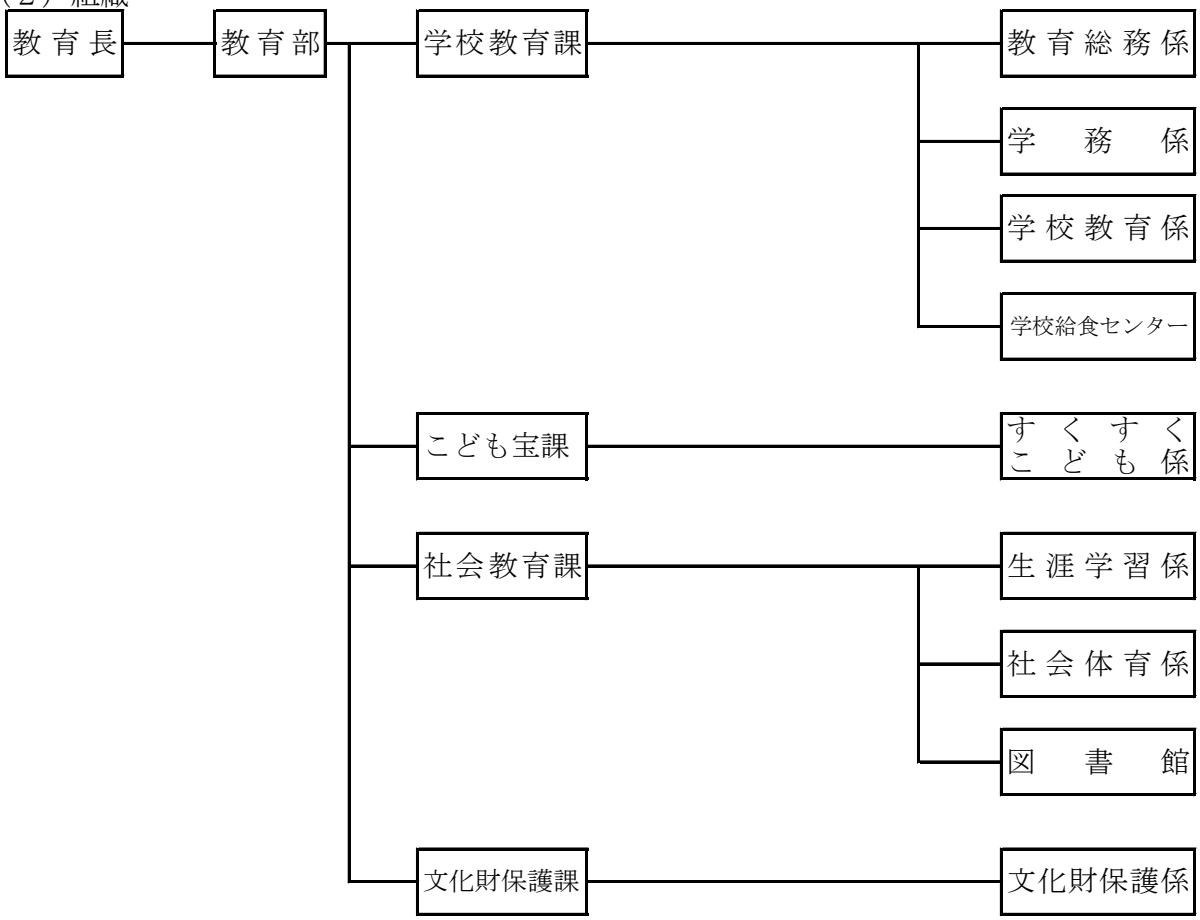
こども宝課　（0774）75-1212　（直通）

社会教育課　（0774）75-1233　（直通）

文化財保護課　（0774）75-1232　（直通）

ＦＡＸ　（0774）73-2566　（0774）75-2083

（２）組織



(3)職員配置(令和3年4月1日現在)

教育長　　1名
教育部長　　1名
教育部理事　　2名
教育部次長　　1名

課名等	課長	課長補佐	係名等	係長	係員	
学校教育課	課長1 担当課長2 主幹3	3	教育総務係	1	担当係長	1
					主任	2
					主事	3
			学務係	1	主事	2
			学校教育係	1	主事	2
			学校教育指導主事		会計年度任用職員	4
			外国語指導助手		会計年度任用職員	2
			適応指導教室		会計年度任用職員	1
			学校安全対策指導員		会計年度任用職員	1
学校給食センター	所長(1)		第一学校給食センター		主任	1
					会計年度任用職員	1
	所長(1)		第二学校給食センター		会計年度任用職員	1
小学校13校						
中学校5校						
こども宝課	(課長1)	1	すくすくこども係	1	主任	2
					主事	5
					主任専門員	1
木津幼稚園	園長1	教頭1			教諭	6
					会計年度任用職員	11
相楽幼稚園	園長1	教頭1			教諭	3
					会計年度任用職員	6
高の原幼稚園	園長1	教頭1			教諭	4
					会計年度任用職員	7
保育園7園						
社会教育課	課長1 主幹1	1	生涯学習係	1	主事	2
					会計年度任用職員	2
			社会体育係	1	担当係長	1
					主査	1
図書館	館長(1)	1	中央図書館	1	主査	1
					専門員	1
					会計年度任用職員	9
			加茂図書館		主査	1
					会計年度任用職員	7
			山城図書館		担当係長	1
					会計年度任用職員	7
加茂文化センター						
山城総合文化センター						
中央交流会館						
西部交流会館						
東部交流会館	館長(1)				主任専門員	1
					専門員	1
南加茂台公民館	館長(1)				主任専門員	1
瓶原公民館						
加茂青少年山の家						
加茂青少年センター						
当尾の郷会館						
中央体育館					主任専門員	1
市民スポーツセンター						
加茂体育館						
やすらぎタウン山城プール						
文化財保護課	課長1	1	文化財保護係	(1)	主任	2
					主事	1

※(　)内は兼務職員数

(4)事務分掌

ア　学校教育課

教育総務係
①　教育委員会及び教育部の庶務に関すること。
②　教育委員会の会議に関すること。
③　教育委員に関すること。
④　公印の保管に関すること。
⑤　教育委員会の基本的政策の企画立案及び総合調整に関すること。
⑥　公文書の保管その他文書に関すること。
⑦　表彰、叙勲及び寄付受納に関すること。
⑧　京都府教育委員会その他関係機関との連絡調整に関すること。
⑨　教育委員会の職員(府費負担教職員を除く。)の人事、給与、福利厚生等に関すること。
⑩　教育委員会規則等の公布等に関すること。
⑪　教育委員会所掌に係る歳入歳出予算及び決算に関すること。
⑫　教育費の調査及び統計に関すること。
⑬　後援申請に関すること。
⑭　教育委員会に係る教育行政の相談に関すること。
⑮　市立小学校、中学校等に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
⑯　市立小学校、中学校等の施設台帳に関すること。
⑰　市立小学校、中学校等の施設に係る調査に関すること。
⑱　市立小学校及び中学校の施設整備に関すること。
⑲　市立小学校及び中学校の施設の備品管理に関すること。
⑳　市立小学校及び中学校の使用許可に関すること。
㉑　市立小学校及び中学校の施設の国庫支出金及び府支出金に関すること。
㉒　学校教育課の所管となる施設の企画立案、設計計画等に関すること。
㉓　公用車の管理に関すること。
㉔　教育部における他の課に属さない事項等の処理に関すること。
㉕　課の庶務に関すること。

学務係
①　学校の組織編成に関すること。
②　通学区域に関すること。
③　児童生徒の安全に関すること(通学路を含む。)。
④　学齢簿の編成及び整備に関すること。
⑤　児童生徒の就学並びに入学、転学及び退学に関すること。
⑥　児童生徒の就学猶予又は免除に関すること。
⑦　児童生徒の指定学校の変更及び区域外就学に関すること。
⑧　市立小学校及び中学校に係る予算・決算の執行管理に関すること。
⑨　就学時健康診断に関すること。
⑩　府費負担教職員の人事、給与等に関すること。
⑪　府費負担教職員の研修に関すること。
⑫　市立小学校及び中学校の設置及び廃止に係る事務に関すること。
⑬　所掌に係る調査及び基幹統計に関すること。

⑭ 児童クラブの施設整備及び運営に関すること。
⑮ 児童クラブ使用料の賦課及び調定に関すること。
⑯ 児童クラブ使用料の徴収、滞納対策等に関すること(ただし、収納担当課が取扱うものを除く。)。
⑰ その他学務に関すること。

学校教育係
① 児童生徒の保健及び健康診断に関すること。
② 教育課程及び学習指導に関すること。
③ 人権教育、特別支援教育等に関すること。
④ 人権教育等の教育関係補助金に関すること。
⑤ 教育支援委員会に関すること。
⑥ 教科書採択及び教科書無償給与に関すること。
⑦ 市立小学校及び中学校の教材備品の管理及び取扱いに関すること。
⑧ 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
⑨ 外国語指導助手に関すること。
⑩ 学校評議員及びスクールボランティアに関すること。
⑪ 学校運営協議会に関すること。
⑫ 就学奨励費に関すること。
⑬ 就学援助に関すること。
⑭ 育英資金・高等学校奨学金に関すること。
⑮ 教育相談に関すること。
⑯ 児童・生徒の基礎学力向上に関すること。
⑰ その他学校教育に関すること。

学校給食センター
① 学校給食センターの施設整備及び運営に関すること。
② 学校給食に関すること。

イ こども宝課

すくすくこども係
① 子どものための教育・保育給付に関すること。
② 子育てのための施設等利用給付に関すること。
③ こども政策に関すること。
④ 子ども・子育て会議に関すること。
⑤ 特定教育・保育施設、特定地域型保育事業者、特定子ども・子育て支援施設等の確認に関すること。
⑥ 教育・保育認定に関すること。
⑦ 保育施設及び保育事業の利用調整に関すること。
⑧ 市立幼稚園児の入退園に関すること。
⑨ 特定教育・保育施設の利用者負担額の決定等に関すること。
⑩ 保育所及び市立幼稚園の利用者負担額の徴収及び収納に関すること(ただし、収納担当課が取扱うものを除く。)。
⑪ 保育所、認定こども園、家庭的保育事業等への指導監査に関すること。
⑫ 保育所、認定こども園及び家庭的保育事業等事業者への助成に関すること。

⑬ 保育所、認定こども園、家庭的保育事業所及び小規模保育事業所の整備に関すること。
⑭ 家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業及び事業所内保育事業の認可に関すること。
⑮ 市立幼稚園の設置及び廃止に係る事務に関すること。
⑯ 市立幼稚園の通園バスに関すること。
⑰ 私立幼稚園の補助に関すること。
⑱ 市立保育所及び市立幼稚園の施設整備及び運営管理に関すること。
⑲ その他幼児教育・保育に関すること。

ウ 社会教育課

生涯学習係
① 社会教育の総合企画及び調整に関すること。
② 社会教育施設に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
③ 公民館、交流会館及びその他社会教育施設の施設整備及び運営に関すること。
④ 社会教育施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑤ 社会教育委員及び公民館運営審議会に関すること。
⑥ 社会教育活動の奨励に関すること。
⑦ 青少年教育、成人教育、女性教育、高齢者教育、人権教育、障害者教育及び家庭教育に関すること。
⑧ 社会教育関係団体の指導育成及び援助に関すること。
⑨ 文化・芸術の振興に関すること。
⑩ 成人式に関すること。
⑪ 学校と社会教育との連携に関すること。
⑫ 社会教育に係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。
⑬ 生涯学習の総合企画及び調整に関すること。
⑭ 生涯学習関係団体との連絡調整に関すること。
⑮ 教育ボランティア及び指導者の育成に関すること。
⑯ 生涯学習に係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。
⑰ 生涯学習相談に関すること。
⑱ 国際交流に関すること。
⑲ その他生涯学習推進に関すること。
⑳ 課の庶務に関すること。

社会体育係
① 体育・スポーツの総合企画及び調整に関すること。
② 社会体育施設に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
③ 社会体育施設の施設整備及び運営に関すること。
④ 社会体育施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑤ スポーツ推進委員に関すること。
⑥ 体育・スポーツ及びレクリエーションの奨励に関すること。
⑦ 社会体育事業の企画立案及び運営に関すること。
⑧ スポーツ指導者の育成に関すること。
⑨ 社会体育関係団体の指導者育成及び援助に関すること。
⑩ 体育・スポーツ及びレクリエーションに係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。

⑪ スポーツ相談に関すること。
⑫ 学校体育施設の開放事業に関すること。
⑬ その他社会体育に関すること。

図書館
① 図書館の総合計画及び調整に関すること。
② 図書館協議会に関すること。
③ 図書館に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
④ 図書館施設の施設整備及び運営に関すること。
⑤ 図書館施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑥ 図書館事業の企画立案及び運営に関すること。
⑦ 図書館資料の収集、整理及び保存に関すること。
⑧ 図書館資料の貸出し及び返却に関すること。
⑨ 図書館資料の利用相談に関すること。

エ 文化財保護課

文化財保護係
① 文化財関係総括に関すること。
② 文化財関係計画の立案に関すること。
③ 文化財に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
④ 文化財保護課の所管となる施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑤ 文化財関係施設の整備運営に関すること。
⑥ 文化財保護審議会等に関すること。
⑦ 文化財所有者及び保護団体に関すること。
⑧ 文化財保護関係機関との連絡調整に関すること。
⑨ 文化財の収集、調査及び研究に関すること。
⑩ 文化財の保存及び活用に関すること。
⑪ 講演会、研究会及び展示会等の開催に関すること。
⑫ 文化財資料の利用者に対する情報提供等に関すること。
⑬ 文化財補助金に関すること。
⑭ 市史編さんに関すること。
⑮ その他文化財の管理調査に関すること。
⑯ 課の庶務に関すること。

Ⅴ. 有識者総評

○全体

・　令和３年度の特徴は昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の中での事業展開となったことであるが、適切な感染防止対策の上、教育活動の充実が図られるよう、教員業務支援員の配置や補充学習支援員の増員措置等の取組がなされており、評価できる。

○重点目標１

・　学力の充実向上を図るため、家庭学習の習慣化に向けた取組は、今後も継続する必要がある。

・　加茂の３小学校で取り組まれている「絆の育成プログラム事業」は、地域の文化財を題材にした学習で、地域を見つめ、地域と結びつきを深めその学びを児童自ら発信する取組であり、評価できる。他校区でも取組を広められたい。

○重点目標２

・　コロナ禍により一層、心の教育相談員やスクールカウンセラー等の派遣の充実を図り、不登校・いじめ等の早期発見、早期支援につなげていくことが重要である。

・　読書活動の推進に向けては、学校図書館司書の人員配置の充実を図ることこそ、自ら学習や生活を豊かにしていく力を育む大きな力になると考える。

　また、市立図書館と密接に連携し合い、子ども自ら ICT 機器等を活用して市立図書館のホームページ（子ども用の検索サイト）を開き、自らが図書を調べることにより、更なる読書への興味・関心につながると考える。

・　木津川市子どもの読書活動推進計画（第三次推進計画）を着実に実施するため、この冊子のより具体的な活用方法を提示し、学校・家庭・地域社会が連携・協力し合って取り組まれることが必要である。

○重点目標３

・　給食は、食育の観点からも非常に重要な役割を果たすことから、引き続き学校給食センターと学校と市教委とが連携して事業を進められたい。

・　食育の推進に向け、食材の生産・調理の過程を可視化した教材とし、動画作成をされ小中学校で活用されたことは、理解しやすく評価できる。

　保護者にも周知されたい。

○重点目標４

・　厳しい状況の中、個々の子どもの発達段階や実態を細やかに把握し、家庭の教育環境（ヤングケアラーも含む）、経済的状況に左右されることなく、幼児・児童・生徒が、園・学校に魅力を感じ、生きる意欲につながる具体的方策を、各部局が連携し合い取り組むことが必要である。同時に、幼小中との更なる連携が必要であると考える。

○重点目標５

・　ICT 機器の整備に伴い、昨年度、市内全児童・生徒にタブレットを配備し、学校での活用推進が進められていることは大いに評価できる。更に、ICT 機器が様々な学びの中で幅広く活用され、課題解決に向けての取組が進むことを期待する。

・　各校に機器のトラブル等に即対応できる ICT 担当職員の更なる配置と、それに伴う機器の充実、情報リテラシー、特に情報モラルの徹底が益々必要となってくると考える。

○重点目標６、７

・　魅力ある・信頼される学校・園づくりは、地域の力を活かして子どもを育むことと密接な関係がある。各校のホームページや学校便り等で学校の様子を地域に発信されているが、学校運営の中で、地域の文化財や地域住民の声を生かしていくことは、地域の学校に対するより豊かな理解につながり、協力体制も強化でき、子どもたちの成長に豊かな影響を与えられると考える。また、地域が子どもたちにとって安心・安全な居場所となっていくと考える。

　また、最近多発している自然災害などにおける危機管理体制の構築にも、地域と学校とが一体となれるよう、進めていくことが重要と考える。

・　人が生涯を通して心身共に健康に過ごすためには、それぞれの世代やニーズに対応するようなスポーツ活動や文化活動ができる機会の提供が必要である。

　様々な講座の開催や関係団体との連携とともに適切な情報発信を行い、市民の学習環境を更に充実するよう努められたい。

・　市立図書館の開館時間を早めたことは、利用者の利便性の向上につながり評価できる。各校の実態に応じ、学校図書館司書と市立図書館司書との連携を更に進めていくことが必要と考える。

○重点目標８

・　京都市に次ぐ多くの文化財を有する木津川市において、文化財保護課職員が行っている学校への出前授業は、地域の文化財を学ぶ場としても定着し、その広がりに期待すると同時に、学校との連携を更に進めていくことが大切である。また、市の文化財愛護団体等とも連携し、文化財を通して、ふるさとの良さを知ることの素晴らしさを地域住民と共に学習し、体験できる取組を行うことも大切と考える。

・　最近文化財の修理修復等が新聞によく取り上げられており、本市においても古文書の整理、調査、デジタル記録化の取り組みが推進されている。本市の素晴らしい文化財の保存・活用に向け、文化財保存活用地域計画の策定に期待する。